

# 岐阜県の

# プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第70号

健康保険組合 4月1日から事業開始  
工組の新年度事業は共済事業が重点  
新技能士 9人が誕生

中国塑料業界の報告書まとまる

全国業界ニュース

労務改善コーナー

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより



月  
末  
に  
開  
いた  
新年  
懇  
親  
会

# 4月1日から事業開始

## 岐阜県プラスチック事業健康保険組合

### 近く組合会議員、理事選ぶ

岐阜県プラスチック工業組合が岐阜県保険課の協力を得て設立準備を進めてきた『岐阜県プラスチック事業健康保険組合』は、いよいよ4月1日から健康保険事業を開始する。健康保険組合設立のための本申請書はさる2月28日付で提出しており、設立認可を待つのみである。すでに県内の各社会保険事務所からこれまでの被保険者台帳の移し替え作業や被保険者証の作成を急ぐなど事業開始に備えている。58年秋くらい2年がかりで進めてきた岐阜県プラスチック業界の健康保険組合はようやく実現へこぎつけた。

#### 年間保険料は7億円を超える

61年度早々から事業開始する『岐阜県プラスチック事業健康保険組合』は、事業所数72社被保険者数は約3,400人で発足する。保険料率は8.3%（事業主負担4.15%、被保険者負担4.15%）で、年間の総保険料は約7億円を超える。

工業組合のうち、当初から健保組合に加入できる組合員企業は政府管掌の社会保険に加入している組合員企業に限られる。工組組合員の約半数は未適用事業所であるため、最初から加入することはできないが、健保組合が事業開始して早い機会に新規加入についての説明会を開き、順次、新加入の手続きを行う予定。

#### 組合会議員は22人で構成する

健保組合の事務作業は本格化、すでに関係法令に従って組合法を定め、これに基づき管理運営組織として組合法や理事会を設置する。管理運営組織づくりは4月1日以降となる。

まず、組合会は議員22人で構成する。このうち11人は事業主側が選定した議員、残る11人は

被保険者が互選した議員で構成するが、その選挙公示と選挙は4月中旬までに行い、4月下旬にも第1回組合会を開催する。組合会では22議員のうち10人の理事を選び、理事会を構成、組合事務を統轄する理事長、また、補佐する常務理事を設ける。事務局は現在の工組事務局を拡張して同居することになる。事務局員は当初4人で健保組合の運営組織体制を整え、軌道に乗せていく。

#### 県下で8番目の総合健康保険組合

こうした健保組合は、法的にはいくつかの中小企業が集まってつくる『総合健康保険組合』と呼んでおり、現在、全国に272組合が設立され、これを統合して全国連合会を結成、連携した事業展開を図っている。しかし、プラスチック業界関係の健保組合は少なく、地域別では東京都と大阪府、また、県域では神奈川県に設けられているだけに、岐阜県プラスチック業界の事業開始は業界で4番目となる。

なお、総合健康保険組合は岐阜県下にすでに8組合設けられている。

## 新年度は共済事業が重点

### 自動車ローン事業も制度拡充

当工業組合は昭和61年度事業計画の立案に入った。ここ2～3年間は、労務改善事業と健康保険設立準備を重点としていたため、新年度からは『共済事業の拡充』に焦点をあてる方針。

具体的にはこれから立案するが①厚生年金基金の設立調査②グループ共済保険の調査、実施

## 労務改善事業かね 新年の懇親会開催 児玉さんがブローの講話

当工業組合は1月22日午後、岐阜市内の岐山会館で開いた理事会のあと恒例の新年懇談会を開催した。とくに懇談会に先だち労務改善事業として副理事長の児玉庄一さん（コダマ樹脂工業代表取締役会長）の講話を聞いた。テーマは『ブローとの出会いー事業の興廃を振り返って』で、昭和14年に先代から受け継いだ酢酸びんのカゴづくりから、プラスチック加工へ移ったいきさつを中心に児玉さんが歩んできた道を話した。

児玉さんが大型酢酸びんに代わるポリエチレンかんの製造に着目したのは昭和38年。ポリエチレン容器の見本を見て『将来の化学薬品の容

③従業員対象の福利厚生事業の充実ーなどの事業と新しく取り組む。

また、これまで相当の事業実績をあげている自動車ローン事業も制度の拡充を図り、組合員企業や経営者を重点としていたのを従業員にまでわくを広げ、ニーズに応じていく。さらに、一般家電製品や薬品及生活用品など共同購入や購入あっせん事業にも力を入れる。

器は全部これになる』と将来を見通して量産化に取組んだという。しかし、当時の中空成形機は小型機種ばかり。あれこれと調べていたとき、たまたま国産化のため西ドイツのマルチンドルフ社からサンプル輸入した大型中空成形機があることを知り、思い切って買い取った。60リットルまでのポリエチレンかんを自動生産できる新鋭機で、もちろんわが国最初。それだけに機械の値段は目をむくほど高く、業界では『児玉はあんな高いものを買って…』と評判だったという。

こうして児玉さんは全国屈指の中空成形専門

メーカーへの道を歩みはじめたわけだが、この当時『事業は資金と技術と人材の3拍子が揃わなければうまくいかないことをつくづく知らされた』と述懐していた。

なお、続いて天龍工業常務取締役の奥村勝さんから『私のアメリカ見聞記ー世界の航空機産業の事情』をテーマに講話を聞く予定であったが時間の都合で次会に繰り延べましたことをお詫び申し上げます。



ブローとの出会いをテーマに児玉さんの講話聞く組合員

## 60年度技能検定 合格証書伝達式 新技能士9人が誕生

60年度のプラスチック射出成形技能検定合格者がこのほど決定、去る12月20日、組合事務局で大松理事長から検定合格証書と技能士章、技能士バッジなどが手渡された。

ことしの検定合格者は一級はなく、二級ばかり9人で、受験者に対する合格率は約30%にとどまった。伝達式で大松理事長は『プラスチック射出成形の技能者は全国的にもまだ少なく、誇りを持って、さらに励んでもらいたい』と語った。

なお、新技能士の皆さんは次のとおり。（敬称略）

岩本 雄二、奥村 久仁夫、  
田口 正久、堀 博彦  
宮下 明義（岐阜プラスチック工業勤務）

井芹 学（ムトー精工勤務）  
野田 繁夫（名古屋三光合成樹脂工業勤務）

近藤 敏郎、高瀬 正広（太平洋工業勤務）



大松理事長から合格証を受ける技能検定合格者



理事長、理事らと一緒に記念撮影する検定合格者

### ムトー精工が本社工場を新設

ムトー精工（各務原市蘇原村雨町、武藤昭三社長）は、金型部門を拡充するのを機会に各務原市鶴沼川崎町に新工場を建設、本社および本社工場を全面移転する。

計画によると新工場は敷地約4,300平方メート

ル、ここに延べ約2,650平方メートルの工場と約660平方メートルの事務所を建設するもの。すでに工場などの建設にかかっており、4月末に完成、5月から操業開始の予定である。これによってエンプラ精密機構部品の金型加工から成形、組み立てにいたる近代化された一貫生産体制が確立する。

## 岐阜テクノソサエティー

「会員募集を開始、近く発足へ」

先端技術を先取りする技術者集団『岐阜テクノソサエティー』が、近く発足をめざして会員募集を開始している。発起人会は当工業組合理事長の大松幸栄岐阜プラスチック工業社長はじめ小川哲也太平洋工業社長ら岐阜県の七大産業を代表する人々で構成、発足後は先端技術分野の研讃と情報の交流活動により、県内産業経済の活性化へ結び付けていく方針である。

設立のねらいは、近年、エレクトロニクス、バイオテクノロジー、ファインセラミックスな

ど新素材、新技術といったハイテク化が進展していることから、技術開発に意欲的な企業が集集、定期的に技術・経営のトップが交流を通じて事業活動を展開していくもの。事業活動は、当初「エレクトロニクス」「新素材」「バイオテクノロジー」の3部門に分かれて技術交流、技術情報交換などを行うとともに、全体例会の中で異業種交流も深めていく。また、大学教授らをコーディネーターとして迎え、勉強会や見学会なども活発に開催していく方針。

新年度早々から事業開始できるように発起人会、設立総会を開くが、当初はプラスチック工業組合に設立準備事務局がおかれる。

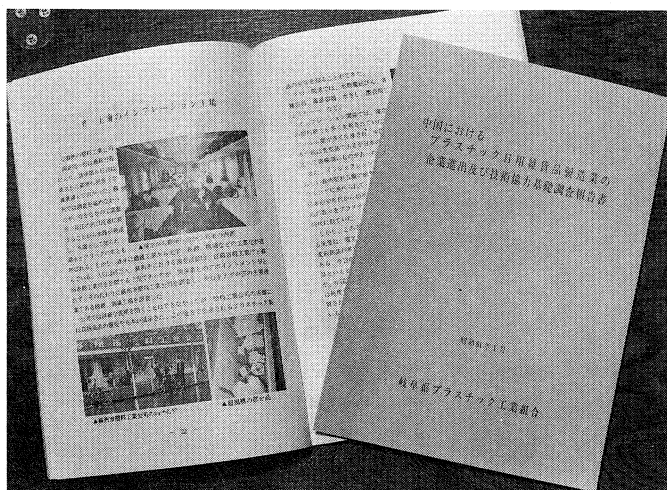
### 中国技術合作調査団 調査報告書まとめる

当工業組合は、昨年11月15日から9日間、中国技術合作調査団を派遣（団長＝大野繁俊副理事長、団員は5人）したが、このほどその調査報告書をまとめた。

報告書は『中国におけるプラスチック日用雑貨品製造業の企業進出及び技術協力基礎調査報告書』としてまとめたもので、B5判、44ページ。主な内容は①調査事業の概要②中国プラスチック業界の概況③北京のフィルム、ブロー工場④南京市にあるプラスチック工場⑤上海のインフレーション工場⑥調査を終わって⑦中国に関する資料—などで、調査団員が9日間にわたって北京、南京、蘇州、上海の4都市で見聞したり、中国関係者と懇談してきた全容を克明に記録している。

また、現地で撮影してきた工場内の写真や成

## 中国塑料業界の現況紹介



### 中国プラスチック業界の実状を詳しく紹介する調査報告書

形製品の写真も27枚も掲載している。最後に中国プラスチック業界に関する資料、合併および合作技術協力についての種々の資料を特集するなど読みやすい報告書としている。

工業組合では200部を印刷、通産省をはじめとする関係機関や関係者へ配布した。希望は組合事務局まで。

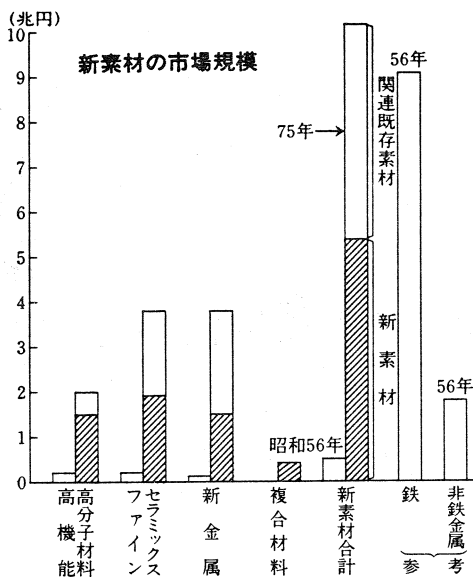
# 新用途の開発が課題 期待される新素材産業

岐阜テクノソサエティーが近く発足するが、プラスチック業界が関心をもつのが「新素材」に関するテーマである。この新素材は①ファインセラミックス②高機能高分子材料③新金属④複合材料に分かれる。現在の推定市場規模は約5,000億円程度であるが、本格的な実用期を迎えると思われる2,000年前後には約5兆4,000億円（昭和56年価格）へと拡大し、この間年平均10数%の高成長を遂げるとみられる。

このほか新素材の実用化に伴い、新素材と併用する既存素材の市場規模が約4兆8,000億円と見積られ、両方を合わせて約10兆2,000億円の素材市場が見込まれる。

## 市場ニーズは飛躍的に高まる

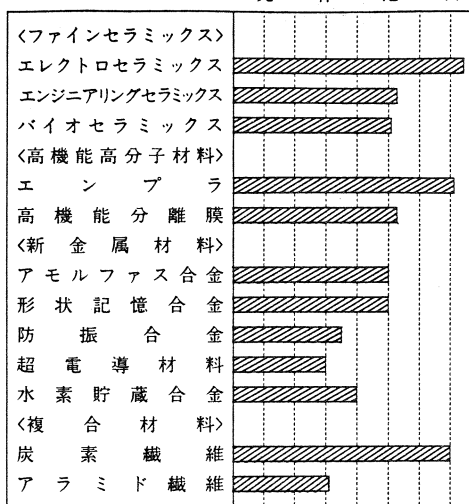
このように新素材が注目を浴びる背景には、



資料：産業構造研究会「新素材の現状と見通し」。昭和56年産業連関表(延長表)

注：1) 金額は昭和56年価格  
2) 鉄は銑鉄・粗鋼ベース。非鉄金属は地金ベース

## 新素材の開発度合い



注：代表的な新素材につき通産省資料等により当室作成

いくつかの特色がある。

第一は、新素材に対する市場ニーズの高まりである。高い精密度と機能とを要求される自動車、電機、機械などの加工組立て産業を中心に製品の性能向上に威力を発揮する新素材へのニーズが飛躍的に高まっているからだ。

第二は、素材産業の成熟化現象があげられる。鉄鋼、非鉄金属、化学、繊維などの素材産業は石油危機いらい需要の停滞に悩まされており、従来の量産品以外に付加価値の高い新素材に活路を見いだす必要に迫られている。

## 課題は企業の開発費負担増加

第三に、技術力の向上がある。材料の加工技術や試験評価技術など新素材の開発を支えていく既存分野での技術や知識のレベルが着実に高まりを見せており、この面からも新素材の研究開発の環境が熟してきている。

今後の課題としては個々の企業の開発費負担の軽減、新規用途の開発、素材としての信頼性の確保などがあげられる。

◎エンブラ、年20%の伸び率◎

自動車部品、エレクトロニクス機器の軽量化が進む中で、エンジニアリング・プラスチック（エンブラ）の生産量が年率20%前後ずつ伸びている。エンブラの代表であるポリアミド（P A）ポリアセタール（POM）ポリカーボネート（P C）の60年の生産量は軒並みに史上最高を記録しそうだ。

自動車部品、電気・電子機器（コンピュータ、パソコン、ワープロなど）部品に採用されている。円高による輸出ブレーキもあるが、急速に進む金属からプラスチックへの転換を裏付けている。一方、樹脂価格も量産効果が出て、値下がりし、需要増を加速している。

◎超薄型プラスチック膜開発◎

東京工業大学の研究グループは、分子一個の厚さしかないごく薄いプラスチックの膜を開発した。未来型コンピュータを構成する分子素子の製法であるラングミュア・プロジェクト法を利用、実用性の高いポリアミド樹脂で、世界で一番薄い膜を作った。半導体の良質な絶縁膜や液晶ディスプレイの基盤膜などに応用できると

いう。

膜の厚さはわずか0.4ナノメートル（1千万分の4ミリ）で、それでも横方向から強く引張っても簡には破れない。膜を構成する分子がバラバラの状態ではなく、隣り同志でしっかり結合し合っているからである。

◎4事業協組つくり共同販売◎

ポリエチレンフィルム業界は、今年から共同販売を柱とする協同組合の設立に乗り出す。日本ポリオレフィンフィルム工業組合さん下の高密度ポリエチレンフィルムメーカーが、全国4地区で事業協同組合を設立し、共同販売や取引条件の改善などを進める。

最初に発足するのは西日本高密度ポリエチレンフィルム事業協同組合（55社参加）で、続いて東日本高密度ポリエチレンフィルム事業協同組合（45社）がスタートする見込み。北海道、九州グループも順次、協同組合を組織する。

事業内容は①高密度ポリエチレンフィルムの共同販売②資材の共同購入③製造技術に関する特許権の共同利用④事業に関する調査・研究など。

**徳山ポリプロ**

**徳山OPフィルム**

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



**徳山曹達株式会社**

名古屋営業所

名古屋市中区錦1丁目18番22号（名古屋Aビル7F）  
電話（052）203-8031代





## デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

### (C I) マーク・ロゴタイプ

これまで、このコーナーで資料を提供してきたように、市場競争力を強めるためや、経営危機、その他のマイナスイメージを改善するため社名変更がきまり、具体的なネーミングまでがなされると、次にマークやロゴタイプが考えられていく。

そして、コーポレートカラーや標語が加わり広告宣伝物、自動車、包装紙、名刺、封筒、ユニホームといったものの使用例が提示されC I実現のためのデザインシステムとして決められていく。

マークとロゴタイプの違いは、ネーミングされた企業名の文字をデザインしたものをロゴタイプ、図形的、絵画的表現のものをマークとして区別し、ロゴタイプはその言葉のイメージ形成のために特別にデザインされた書体のことで写植文字や活字の書体の中から自社に最適なものを選び出して使われている「指定書体」とも区別されている。

また、自社専用の文字をあらかじめ創作しておき、色々な言葉に適用する場合は「創作文字」

といい、いわば文字のキャラクターであり、〈IBM〉や〈IHI〉は文字で表現されたマーク(ワード・マーク)と呼ばれている。

以下、セキスイハイムのC Iデザインシステムとその他参考例である。



今回は、こうしたものに関する「商標」について資料を提供したいと思っています。  
(岐阜県工業技術センター、技術振興部)

# 出光

## の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

低密度ポリエチレン

高密度ポリエチレン

ポリプロピレン

カルブ®

ポリカーポネート



### 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号(日土地名古屋ビル5F) 〒460 ☎052-231-8611

## 継手から工業部品へ重点を移す

### 大栄工業株式会社

工場訪問は回を重ね70回目。今回は経営の首脳陣・社長と常務がそろって女性という大栄工業（各務原市前渡西町10、従業員40人）を訪ねた。工場は航空自衛隊岐阜基地の南側、ゆるやかな丘の斜面を切り開いたところ。

といっても土地感のない人には判ってもらえそうにないが、美濃ライトの工場跡といえれば気付いてもらえそうだ。国家技能検定の受検が縁となって、新しく工業組合へ入会した企業である。

### 東栄管機から独立した新会社

社長は大澤裕子さん。昭和1ケタ生まれというから、まだまだお若い。まず、大栄工業の誕生について話を聞くと『この工場は、もとは東京に本社をもつ硬質塩ビ継手の専門メーカーである東栄管機が、昭和46年に買収、各務原工場としていたもの。しかし、石油パニック後の52年8月に、合理化をねらい別会社として独立さ

せ、大栄工業の名で新発足した』という。大澤さんはそれまで東栄管機の常務だったが、退任し、大栄工業の代表に就任した。

### 岐阜—北海道、空翔ける経営者

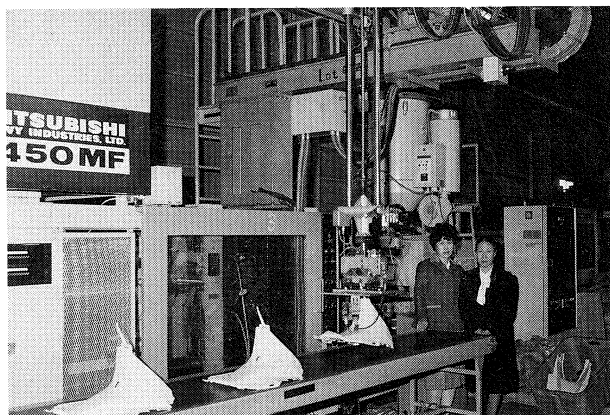
各務原工場の独立は、硬質塩ビ継手の専門成形から部品成形へと主力を移したわけで、いろいろ自動車部品や家電製品などの受注に精力を注ぎこんできた。この結果100%硬質塩ビ継手だったのが、現在では60%となり、一方、部品成形は40%へと成長、経営は年々改善されてきた。

硬質塩ビ継手のウエートが小さくなったといっても主力であることには変りない。大澤さんはその新市場開拓が新会社発展のキメ手になるものと考え、北海道に北栄管材と北海道東栄管機の2社を設立、今では岐阜と北海道を結んでの「空翔ける女性経営者」である。

### 工場には大型インジェクション

工場は、約1,000坪の用地に製品倉庫をかねた600坪もの広さ。そのはず小さくても250トン、大きいのは800トンの大型インジェクションが並ぶからだ。所有台数は協力工場を含め14台。合計、40人が働くが、大澤さんは『3つの会社を経営できるのは、東栄管機時代からの協力者、名達早貴子常務と40人の従業員が留守を守ってくれるから』と話す。

最後に大澤さん『北海道は工業未開発地。組合で企業交流や工場進出をめざした北海道見学会を企画したら。私がお案内します』と呼びかけていた。



450トン成形機の前に立つ大澤社長(右)と名達常務(左)

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

### □健康保険組合設立へ理解と協力を□

工業組合の組合員企業を中心に、2年がかりで取り組んできました『岐阜県プラスチック事業健康保険組合』が、4月1日から事業開始します。当初は組合員の中でも健康保険を適用している72社を中心にスタートします。現在、適用事業所になっていない組合員企業（従業員5人以下）の加入は、健康保険組合の事業運営組織である組合会や理事会など体制が固まり次第、認定手続きの説明会を開きますので、いま、しばらくお待ちください。ご協力とご理解をお願いいたします。

### □工組にパソコンが活躍しています□

工組事務局にパソコンが入りました。ワープロ機能を持った最新型のファコム9450Σで、すでに活躍しております。組合員台帳の整理や種々の組合文書は順次この中にファイルしてゆきます。展示会などで岐阜産業会館へ来られたおりに、パソコンの威力を見てください。

### □お買い得商品『作動油』『離型剤』□

共同購入の希望商品を聞かせていただいでい

るなかで『作動油』と『離型剤』の購入あっ旋を行っております。

『作動油』は日石マルパス200ℓで2万8,000円、20ℓでは4,150円で、いずれも配達料込みの価格です。また、油の抜き替え作業は1ℓあたり25円で、作業は日の丸石油が行います。

『離型剤』は、ダイセキです。従来は48本パックでしたが、今回からは24本パックとなりました。LPガス使用のプラコートLP S（二次加工なし）同L P E（二次加工用）は各1本320円。フロンガス使用のプラコートO B（二次加工なし）、同O P E（二次加工用）各470円です。

### □新事務員の森田文子さんをよろしく□

新しく工業組合事務局に森田文子さんが勤務しております。よろしくお願ひします。

## 岐阜県のプラスチック 1986 70号

昭和61年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1番  
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582)72-7173

## 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友® TPE

合成ゴムSBR

住友® SBR

合成ゴムEPR

エスプラン®

エチレン酢酸ビニル  
塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®

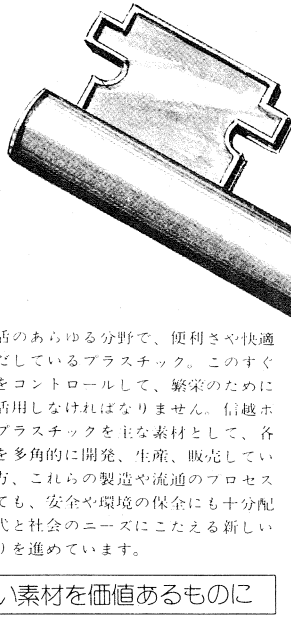


# 住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



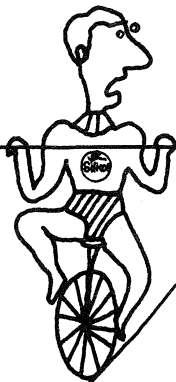
ニーズに**適確に**  
こたえることで  
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら  
ではの、**離れ技。**

### 信越シリコーン 離型剤

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



**信越シリコーン**

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

# 時代への先射

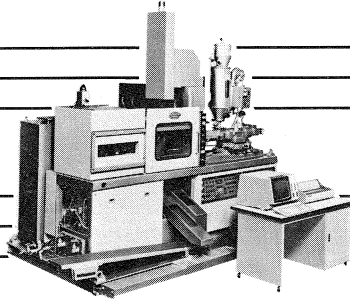
プラスチック射出成形専門技術で確かな明日に貢献します。

コンタクトレンズから人工心臓まで  
医療に役立つプラスチック

高度情報化社会の推進者、  
エレクトロニクス&プラスチック

プラスチックが貢献する  
ニューメディアの実用化

未来の交通を変える  
軽くて強いプラスチック



高精度で小型、軽量、そして低コスト…すでに当り前となったエレクトロニクス製品。これらを可能とした背景にプラスチックは欠かせません。しかも、ニューメディア、バイオテクノロジーなど、今後社会を主導する分野では、ますます精度の高いプラスチック製品が求められます。射出成形機の専門メーカーとして実績を誇る日精樹脂は、信頼性の高い射出成形機、マイコンをいち早く導入した制御システム、総合的なシステム成形など、先進の技術で常にプラスチック業界の要望を叶えています。より深い専門技術とより広い応用技術で、今後もプラスチックの新しい利用価値を提供してまいります。

今日の課題を解決し明日の可能性を拓く

## テクニカルセンター

充実したデータ処理システムや計測機器を完備したテクニカルセンター  
成形品の試験やノウハウ技術開発を行うとともに顧客の立会試験にも利用されています。

NISSEI 精密射出成形機 世界のトップメーカー  
日精樹脂工業株式会社

岐阜出張所 〒500 岐阜県岐阜市西部寺屋敷3-40番ビルF ☎(0582)72-5952  
本社・工場 〒389-06 長野県坂城町 ☎(0268)82-3000(大代表)  
営業所 東京/大阪/名古屋/長野  
出張所 全国34ヶ所 海外サービスステーション25ヶ所(21ヶ国)

## TOSHIBA 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11  
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号  
化工機課 TEL <052> 561-8341

## 三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

**NOVAMID**  
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

**NOVAREX**<sup>®</sup>  
ノバレックス

PBT樹脂

**NOVADUR**  
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

**NOVATEC**

高圧ポリエチレン

**NOVATEC-L**



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル  
電話 03(283)6111(大代表) [〒100]

染料 }  
工業薬品 } 販売  
合成樹脂 }

# 山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号  
TEL (03) 256-7861(代)  
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)  
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

**JSR NF94**  
**JSR NC100**

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

# 発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った  
発見と発明を...



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

**パラグラス®**

メタクリル樹脂・押出板

**コモグラス**

メタクリル樹脂・成形材料

**パラペット®**



**協和ガス化学工業株式会社**

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174  
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396  
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)66-1525



## 生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト®**

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット®**

ABS樹脂

**ダイヤペット® ABS**

**三菱レイヨン**

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



**リス**のプラスチック



# 今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU  
**Noble**  
ノーブル

## 岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)  
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)  
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮